



©Shumpei Ohsugi

広島交響楽団 シン・ディスカバリー・シリーズ 被爆80周年〈ヒロシマとモーツァルト〉

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

The 80th anniversary of atomic bombing “Hiroshima & Mozart”



《Piece of Peace》
平和のかげら

第3回

2025.10.31 金

18:45開演(17:45開場)

JMSアステールプラザ

大ホール Friday October 31, 2025

Start 18:45 [Open 17:45]

JMS Aster Plaza Hall

指揮(音楽監督):

クリスティアン・アルミンク

Conductor: Christian Arming

◆大木正夫:交響曲第5番「ヒロシマ」

(旧題/原爆の図に寄する交響的幻想)

Masao Ohki: Symphony No.5 “Hiroshima”

(Hiroshima Symphonic Fantasy)

◆モーツァルト:交響曲第41番ハ長調

K.551「ジュピター」

Mozart: Symphony No.41 in C major K.551 “Jupiter”

コンサートマスター:三上 亮 Concertmaster: Ryo Mikami



■チケット料金(税込/全席指定)

S:¥5,800 A:¥4,800 B:¥3,800 (学生:1,500円)

学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

■チケット発売日/2025年8月29日(金)

■チケット取扱い/JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響事務局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

■主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■共催/公益財団法人広島市文化財団

■協賛/中国電力、ひろぎんホールディングス、広島電鉄、マツダ

■後援/広島市、広島市教育委員会

■助成/



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金

(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

|独立行政法人日本芸術文化振興会

■お問い合わせ

広響事務局 082-532-3080

■公式ホームページ

<http://hirokyo.or.jp/>



公益財団法人 合人社財団

被爆80周年

〈ヒロシマとモーツァルト〉

私が音楽監督に就任して最初のシーズンは、母国オーストリアに関わりの深いモーツァルトとコルンゴルトを「ふたりのヴォルフガング」というタイトルでお贈りしました。そして2年目のシーズンを考えた時、まずモーツァルトはオーケストラの音創りでとても大切ですので、これは続けよう。そしてモーツァルトに対峙する作品は?としたところ、2025年は広島に原爆が投下されてから80年の節目ですので、「ヒロシマ」を題材、または関係する作品を紹介できないかと考えました。幸いそれらの作品の情報については楽団に蓄積されていたのですが、ペンデレツキや糺場のように過去何度も演奏された定番の作品や、近年作曲された藤倉や、コンポーザー・イン・レジデンスを務める細川作品の他、広響が初めて取り組む演目として、ジョン・アダムズと大木正夫をラインナップに取り入れました。2023年には映画「オッペンハイマー」が広島でも上演されたと聞きます。また2016年には当時米国のオバマ大統領が広島を訪れ、歓迎を持って受け入れられました。世界中の人たちが「広島」の寛容と慈愛に心を揺さぶられた瞬間でした。広島交響楽団はこれからも Music for Peace をモットーに音楽活動を続けて行きます。皆様の温かい応援への感謝と原爆犠牲者への追悼を込めて、最後はモーツァルトのレクイエムで締めくりたいと思います。

広島交響楽団 音楽監督
クリスティアン・アルミンク



指揮
クリスティアン・アルミンク
Conductor : Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任した。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンダ管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮し、岡山公演では広響と共に演奏した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲二短調などで高い評価を得ている。2025年4月には、広響音楽監督就任披露公演で取り上げたR. シュトラウス／アルプス交響曲のライブ録音をリリースした。

次回ディスカバリー・シリーズ

広島交響楽団 シン・ディスカバリー・シリーズ
被爆80周年 〈ヒロシマとモーツァルト〉

第4回

2026.2.25 水 18:45開演(17:45開場)

JMSアステールプラザ 大ホール

■指揮:クリスティアン・アルミンク
■ソプラノ:種谷典子 ■アルト:藤井麻美 ■テノール:鈴木准 ■バリトン:ジョン・ハオ
■合唱:エリザベト音楽大学合唱団

細川俊夫:《おお、大いなる神秘よ》同声合唱のための

細川俊夫:《渦》オーケストラのための

モーツァルト:レクイエム 二短調 K.626(ジュスマイヤー完成版—新モーツァルト全集)



ソプラノ:種谷典子



アルト:藤井麻美



テノール:鈴木准



バリトン:ジョン・ハオ